



のぞいてみよう！  
みんなの協議体  
～12地区のささえ愛～



大田原には  
ささえ愛が  
いっぱい！



社会福祉法人大田原市社会福祉協議会

# 目次

○「のぞいてみよう！みんなの協議体」冊子の見方	1
●東部地区	2
●西部地区	4
●紫塚地区	6
●金田地区	8
●親園地区	10
●野崎地区	12
●佐久山地区	14
●湯津上地区	16
●黒羽地区	18
●川西地区	20
●両郷地区	22
●須賀川地区	24

## 協議体って何だろう？

超高齢社会を迎え、今後さらに高齢化が進むことが予想され、支援が必要な人の増加、担い手や支えてくれる人の不足などさまざまな問題があります。

そのような背景から大田原市では、住み慣れた地域で、年をとっても、障がいがあっても、できるかぎり自分のできることを続けながら、安心して暮らし続けることができるよう、**ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）**を進めています。

市内12地区を単位に、地域でささえあいの地域づくりを進めるための話し合いの場として「**協議体**」が設置され、地域の課題や情報をもちより、地域住民同士で活発に話し合っています。

協議体であがった課題を、地域にある資源を生かしながら、活動を進めています。

## 第2層生活支援 コーディネーターとは…

地域のみなさんの暮らしぶりを聴きながら、**ひと・モノ・情報**をつなぎ、協議体と一緒に、地域のみなさんの**“こんな地域にしたい！”**をサポートします。

この冊子は、12地区ごとに協議体で話し合っている内容や進めている取組みについて紹介をしています。ぜひ話し合いや取組みのヒントにしてくださいね！



## 地域の福祉を進めています！

名 称	内 容
<b>地区社会福祉協議会</b> ～地域のふくしをすすめる 地域のみなさんが主役の活動～	自分たちの住む地域を自分たちでよくしていくための住民の自主組織です。 市内には12地区の地区社協があり、地域のつながりを大切にしながら、地区ごとに様々な活動をしています。
<b>安心生活見守り事業</b> ～地域ぐるみの見守りと、ちょっとした生活支援、見守りをおしたつながりづくり～	大田原市では、誰もが地域内で孤立することのないよう、ご近所同士声をかけあったり、気にかけてりしながら、地域ぐるみの見守り活動を進めています。

# ■ のぞいてみよう！みんなの協議体“冊子の見方”

## のぞいてみよう みんなの協議体～野崎地区のささえ愛～

～目指す地域像～

ひのび さわさわ さずな和く輪く

### 協議体でどんな話し合っているの？

- 防災意識を高めるよつ  
災害時にも助け合えるよう、防災意識を高める機会として、野崎地区のお祭りや文化祭等で、災害クイズや100円で購入できる防災グッズの紹介を行い、防災について身近に考える機会を進めています。
- 近所のつながりを強めよう  
ひと声かけるきっかけを作るため、回覧版に小中学生のイラストや地域の方のちぎり絵などの作品を掲載した「ひと声・声かけ運動」を展開しています。
- 野崎の良さを発信しよう  
地域行事・見守り・高場所などのPRのため、「野崎写真自慢コンテスト」を開催しています。PRだけでなく、地域の良さに気づくきっかけにもなっています。

### ささえ愛の取組み

#### 居場所活動



各自治会ごとに様々な居場所があります。季節に合わせた行事やお巡りさんや地域包括支援センターによる講話など、工夫しながら加することで、お互いの安否確認や情報交換の機会になっています。

#### 防災クイズ

野崎さくら祭りで防災クイズ（ピクトグラム）を実施しました。「見たことはあるけど、どんな意味だったか？」など、防災について考えるきっかけになりました。子どもから大人まで参加してくれました。



#### 野崎写真自慢コンテスト



応募があった写真について審査をしている所です。野崎の伝統行事や美しい景色など、写真を通して「野崎の良さ」を発信しています。

地区ごとに、第2層協議体で話し合っている内容について紹介しています。

地区のさまざまな「ささえ愛の取組み」を紹介しています。

令和6年12月2日に開催した「ささえ愛フェスタIN大田原」で発表した取組み内容を紹介します。

## 「ささえ愛フェスタIN大田原」って？

第2層協議体が平成29年度に設置してから、初めての活動発表・交流会を開催しました。自分の地区を見つめ直し、相互に学び合い、より良い活動のヒントを得て、各地区の活動内容に活かす機会としました。

他地区の方が発表を聞いて、「こんなところがいいね👍」を出してくれました。他地区のみなさんが活動のヒントをもらったり、自分たちの地区の取組みを振り返る機会になりました。

## ささえ愛フェスタIN大田原

### 世代間交流～ひょうたんクラブ～

#### 〇きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

##### ざわざわ(活性化)

- ・グループのテーマの一つ→「ざわざわ…にぎやかな野崎を作る」
- ・何かを利用して、地区内の子どもからお年寄りまで交流できる場づくりを進めることになった。
- ・いろいろなアイデアが出たが、グループメンバーが「ひょうたんクラブ作り」を提案し、採用
- ・試行錯誤の末、令和5年10月に「野崎ひょうたんクラブ」が発足。

#### 〇活動内容

- ・ひょうたんの栽培
- ・ひょうたん作品作りの企画、広報
- ・子供育成会や老人クラブ、ほほえみセンターでの贈り付け体験
- ・野崎幼稚園や海華小学校へのひょうたん提供
- ・野崎文化祭での展示

##### 【ひょうたんクラブ定例会】

毎月第3日曜日に定例会を開催し、ひょうたん作品の製作や会の活動計画、情報交換を実施中！

#### 〇活動の感想

- (1) 成果
  - ・ひょうたんクラブが発足し、仲間が増えた。
  - ・ひょうたん作品づくりを通して、世代間交流が活発になってきた。
- (2) 苦労したこと
  - ・最初は一部の方に依存していたが、ひょうたんクラブが発足して、みんなで栽培から製作までできるようになった。
  - ・細かい技術が確立されていないので、試行錯誤を続けている。
- (3) 今後の取組
  - ・もっと「ひょうたん」を通して、野崎を活性化させたい！

#### 〇こんなところがいいね

- ・若い世代、次の世代を担う子ども達を含めた取り組みがおもしろい！
- ・ひょうたんの栽培から加工まで素晴らしい！実体験でのびのびざわざわと様子が見えやすい。
- ・販売まで行い、活動資金をつくられていることが素晴らしい。
- ・ひょうたんを基として人・地域がつながる取組みになっている。



# のぞいてみよう みんなの協議体～**東部地区**のささえ愛～

## ～目指す地域像～

### 東部地区から広がる共助の輪 ～気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔～

#### 協議体でどんな話し合いをしているの？

##### ■ 支え合い・助け合いの地域づくり

東日本大震災で被災された方の講話を聴き、災害時には日頃の地域のつながりが大切であることや避難先での生活、心の復興が課題であることを学び、災害をとおして人とのつながりについて考える機会としました。

##### ■ 子どもたちが安心・安全に登下校できる体制づくり

現在行われている「子どもの見守り」について、危険箇所マップを大人目線だけでなく、子ども目線を入れたものに改訂しよう！この活動を通じて、地域にあいさつの輪を広げていこう！と話し合いをしています。

##### ■ 通いの場を増やし楽しい地域をつくる

今あるさまざまな通いの場の情報が少ないため、地域に周知が必要ではないかと話し合い、活動事例発表会やリーフレットによる広報を行いました。

#### ささえ愛の取組み



### 通いの場

東部地区には様々な通いの場があります。空き家や自治公民館、地区公民館を活用し、高齢者だけでなく、子どもたちも一緒に参加し世代間交流をしているところもあります。

### 子どもの見守り

東部地区社協では、小学生の下校時に子どもの見守りを行っています。また、危険箇所をマップにまとめ、小学校とも連携しながら、地域と学校が協力して、子どもたちを見守っています。



### ふれあい広場

長年開催している地域のイベントです。小学生へ参加の呼びかけや、小中学生を対象にボランティアを募集し、地域の方と一緒に交流を深める機会になりました。

## 世代間交流～子どもから高齢者までの通いの場～

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

- ・東部地区社会福祉協議会における小地域福祉活動計画に伴い「**通いの場づくり特別部会**」を設け、通いの場づくりを進めるための計画、実践を進めてきました。
- ・協議体会議で出された地域課題の一つに「**高齢者の通いの場づくり**」が挙げられ、各自治会に、地域の通いの場にかかわる活動に関する実態調査を行いました。
- ・調査の結果、地区内にいくつか通いの場の活動があり、またニーズもあることが分かり、**東部地区協議体が呼びかけ、「気楽会」を発足**しました。

### ○活動内容

#### ・東部気楽会の発足

地区内の喫茶店の店舗をお借りして「気楽会」の活動を始めました。

#### ・通いの場事例発表会の開催

見守り隊員研修会で5つの活動事例を発表しました。

#### ・パンフレットによる広報と新たな活動

地域に活動を紹介するパンフレットを作成し、全戸配布しました。



#### ・令和5年にできた新たな通いの場

- ・空き家を利用した「**ふらっと城山**」
- ・コーヒーを淹れるのが得意な方を囲んで「**しず子カフェ**」
- ・子どもたちの学習会で地域の方も一緒に「**寺子屋学習会**」



### ○活動の感想

#### ◎「通いの場」の輪を広げるために

- ① 地域づくりにつながる**世代間交流の場**としての活動を広げたいです。
- ② 移動の問題を解決するために**近所にある通いの場**をつくりたいです。
- ③ **情報発信と広報**を工夫したいです。

### ○こんなところがいいね👍

- ・既存の通いの場を掘り起こし、交流の場を広げている。
- ・寺子屋学習は、ボランティアティーチャーさんが協力していてよいと思う。
- ・通いの場が世代を超えて様々な人が関わってくる様子が伝わってきました。
- ・活動を（集まる場所）を増やして、身近に集まる場所があるのはいいね！



# のぞいてみよう みんなの協議体～西部地区のささえ愛～ ～目指す地域像～

あったかな笑顔あふれる西部地区  
～いつでも 誰でも 声をかけ愛 つながる和～



## 協議体でどんな話し合いをしているの？

### ■自治会のあり方を多世代で考えよう

若い世代の意見を取り入れるために、西原小学校に協力をもらい、保護者に自治会のあり方についてアンケートを実施しました。今後自治会の良さについて、「あったか広場」で周知していく予定です。

### ■地域の助け愛の力を高めよう

子ども達の登下校の時間に合わせ「ながら見守り」を広めるため、小学校に協力をもらい、児童からチラシ絵を募集し、ポスターを作成しました。地域への周知や公共機関やお店に協力を依頼しています。

### ■世代を超えたきずなを深めよう

「あったか広場」のリニューアルを検討し、子どもも楽しめる内容にしたり、中学生も参加した新たな取り組みを行いました。



## ささえ愛の取り組み



### ふれあい型食事サービス

地区社協では40年近く、火曜日（月4回）にボランティアさんによる手作りのお弁当をお届けしています。心のこもったお弁当とお届け時のひと声があり、通称「あったか弁当♡」です！夏休みには中学生がボランティアに来てくれます。

### 茶話会

あったか思いやりの会では、自治会ごとに茶話会を開催しています。地域包括支援センターや地域の施設職員が講師となり、みんなで熱中症や腰痛予防を学びながら、交流の機会になっています。



### あったか広場

地域のイベントとして、長年実施しています。協議体で検討し、多世代交流ができる内容や中学生に参加を呼びかけるなどしています。





### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

令和3年度に6回の策定委員会を開催して、しくみづくり、つながりづくり、きずなづくりを目標とした西部地区小地域福祉活動計画を策定しました。目標をもとに、3つのグループに分かれて年4回話し合いを進めています。

つながりづくりグループでは、「子どもたちから元気にあいさつしてくれることが地域としてうれしい」、「子どもたちとのつながりのパイプをもっと太くしていきたいよね」という話が出ました。目標にある「ながら見守り」について、地域全体で子ども達を見守るにはどうしたらよいか協議体内で検討することになりました。

### ○活動内容

西部地区のあたたかい見守りの目を少しずつ広めていきたい。



- ・子どもの見守りは、自然な形で「ながら見守り」を地域に広めていこう！と決定しました。
- ・周知方法としてポスターを作成することにしました。子どもたちにも地域の取組みを知ってもらうため、西原小学校の児童にチラシ絵を依頼しました。
- ・育成会から参加している協議体委員さんの力を借りて、集まったチラシ絵を活かし、ポスターを完成。
- ・完成したポスターの配布先をグループで検討し、回覧板や学校、個人店などに配布予定。

### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・西部地区は、学校とのパイプがもともとあり、学校側もチラシ絵の依頼に快く対応してくれました。
- ・子育て世代のPTAや育成会から参加している協議体委員がおり、若い世代の声も取り入れながら、進めることができました。

#### (2) 苦労したこと

- ・「ながら見守り」を地域に広めるための方法をどうするか、ポスターのデザインをどうしたらよいか意見がまとまるまで大変でした。

#### (3) 今後の取り組み

- ・完成したポスターを回覧板で周知、西部地区の商店・公共施設等に協力依頼をして、「ながら見守り」活動の周知をしています。



### ○こんなところがいいね👍

- ・「ながら見守り」無理なく自然でいいと思います。
- ・地域の特性に合った活動である！
- ・子ども(小学生)をきっかけにして活動することは、子どもの親、祖父母等の世代間のつながりになり良いと思う。
- ・自然の形での見守りや小学生に絵を書いてもらうということが素晴らしい。
- ・若い人が多く参加して、活発に行っているなと思いました。



# のぞいてみよう みんなの協議体～紫塚地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～ ほっとすまいる紫塚

### 💡 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■ 困難事例に対する事例検討

実際の生活状況から困っていることを想定し、民生委員の方や見守り隊の方、それぞれの目線から自分に何ができるのか考えました。

#### ■ “DIG(災害図上訓練)”であらためて地域について考える

「災害を知る」「まち(地域)を知る」「人を知る」ことをねらいに、DIGを実施しました。地域を良く知る方々ならではのリアルで有意義な訓練ができました。

#### ■ 地域の活動や実績を振り返る

研修会を開催し、紫塚地区40年の活動を振り返りました。出席者のみなさんが当たり前と思って活動していることも大変な頑張りなのだと、だから紫塚は住みやすいと再認識しました。

### 💡 ささえ愛の取組み



#### 研修会

写真は紫塚地区見守り隊で「救急法」の講習会を実施した様子です。有事に備え皆さん真剣に受講されており、対応力が向上しました。

#### 給食サービス

年間で2,000食近いお弁当を作り、利用者の方に届けています。

毎年夏休みには大田原中学校の生徒や大学生が調理から配達までボランティアで参加し、体験しています。



#### 紫塚小地域探検ウォークラリー

児童が地域を知るイベントで、紫塚地区社会福祉協議会は各ポイントで児童を迎え、ゲームや福引を通じて交流しました。

地区社協をはじめ、ボランティアの方や、児童の父兄が参加し、地域一体となり児童の活動を盛り上げています。



### 地域の見える化 ～支え合いマップ作り～

#### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

- R元年度 地区社協の中に紫塚地区協議体を立ち上げ、1次小地域福祉活動計画を策定  
取組目標を「仕組みづくり」「人づくり」「機会づくり」としました。
- R2年度・R3年度 取組目標ごとの3グループに別れ、取組目標の具体化
- R4年度 具体的取組目標をまとめ地区社協へ4つの提言を提出しました。  
その1つが「支え合いマップ作りの推進」でした。
- R5年度～ 地区社協にて、実施検討を行いました。

#### ○活動内容

- ・自治会ごとの支え合いマップ作りを行いました。
- ・自治会・見守り隊が主導し、各組長が参加し、市社協の協力を得て実施しました。
- ・災害時などに、支援を必要とする方（高齢者、障害者、幼児など）がどこにいるのか、どんな支援が必要かを再確認し、課題の明確化を目的として実施しました。
- ・自治会の地区を分け、数回に分けて実施しました。



#### ○活動の感想

##### (1) 成果

- ・自分の周りの、実際の要支援者が具体的にわかって良かったです。
- ・普段のコミュニケーションや見守りの大切さを再認識することができました。

##### (2) 苦勞したこと

- ・マップの情報は年々変化するため、常に現状を維持するのは困難でした。
- ・マップ作成時に、個人情報保護にも気をつける必要があります。

##### (3) 今後の取組

- ・担い手の確保と育成に取り組みます。



#### ○こんなところがいいね👍

- ・マップで把握した対象者を見守り活動に繋げているところがいいね！
- ・高齢者だけでなく障害者、子どもを巻き込んだマップ、良かった。
- ・多くの人と一緒にマップを作ることで情報がたくさん集まっていね！
- ・若い人の参加を促し、子育て世代を絡ませるのが上手い。
- ・近所の状況を把握するのに役立つね。



# のぞいてみよう みんなの協議体～金田地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

手を取り合い 絆深まる かねだの未来



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■人材発掘「自己・他人紹介カード」(人づくり)

人材の情報を集めるための方法について話し合い、カードの案を作成しました。自分を紹介しても他の人を紹介しても良いもので、試行的に協議体メンバーに書いてもらっています。

#### ■防災による地域の絆づくり(絆づくり)

まずは地区文化祭で防火講習会をやってみました。子どもの参加者が多く、世代を超えて行うことで絆づくりにつながります。防災の取組が広がるよう次の作戦を練っています。

#### ■地域行事や居場所の情報発信(地域・場所づくり)

金田には、地域行事や居場所がたくさんありますが、広く知られていません。そこで、「地域PRカード」を作成して情報を集め、地域のおたよりや地元若手経営者のSNSで発信し、積極的に知らせていきます。



### ささえ愛の取組み



### ささえ愛がいっぱい！

ワンちゃんのお散歩で、自然と何人か集まって、楽しいおしゃべりタイムが始まります。お互いの見守り、情報交換、お散歩で健康づくりにもなります。こんな自然なささえあいがたくさんあります。

### 地域行事の復活

コロナ禍が明けて、あちこちで行事が盛んになっています。写真は30年ぶりに復活した子ども神輿の様子です。協議体が動き出したことで、行事をとおしてつながりづくりになるという意識が高まっています。



### 防火講習会

防災について話し合っているグループでは、「まずやってみよう！」と地区の文化祭で防火講習会を行いました。たくさんの親子連れが訪れ、水消火器での消火訓練など楽しく学びました。



## 地域の仲間づくり～人材の地産地活～

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

令和4年度に小地域福祉活動計画を策定し、令和5年度から協議体で、「**人づくり**」「**絆づくり**」「**地域・場所づくり**」の目標ごとに話し合いを進めています。

令和5年5月、新型コロナが5類に移行したことで、4年ぶりに地区文化祭をはじめとする地区での行事・イベント、自治会や公民館での催しの再開に、協議体委員がそれぞれ主力となって活動しているため、地区全体や新たな取り組みは難しい現状にあります。

そこで、地区内の資源を把握する中で、特に人材資源に注目しました。地区での活動を実践し、未来につなげて行けるような「**地域の仲間をつくる～人材の地産地活～**」を目指します。

### ○活動内容

- ・活動には、人材確保・育成が不可欠なので、金田地区内150以上ある事業所の「地域貢献したい」という想いを活かす（**地活**）ところから進めていきます。
- ・事業所のうち、金田地区生え抜き（**地産**）の若手経営者に協議体に参加してもらうことで、福祉活動実行への近道と将来の地域リーダー育成につなげたいと考えています。
- ・住民と事業所がつながること（**仲間づくり**）をきっかけにして生まれ育った子どもたちが地元就職し、永く安心して暮らせる地域づくりをしていきます。



### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・令和6年度第1回協議体研修会に若手事業経営者5名が参加。グループ意見交換会では、委員の笑顔と建設的な会話をする姿を見ることができました。

#### (2) 苦勞したこと

- ・これまでの協議体の話し合いでは、実践できる人が不足しているため、「やってみよう」「できるよ」までに話が進みませんでした。

#### (3) 今後の取組

- ・今後は、さらに多くの事業経営者や協力機関と、地域づくりを実践していく仲間としてつながり、持続可能な福祉活動のネットワークを作りながら計画の実践につなげていきたいと考えています。



### ○こんなところがいいね👍

- ・たくさんある事業所の協力を得ていこうとする発想が素晴らしい。
- ・若い人のエネルギー、得意なこと、どんどん活用して活気ある地域になると思います。
- ・地域事業所の若手の方に協議体に入ってもらって、事業所のインスタやXでイベントPRなどの協力など、できることからやってもらっている。いいね！



# のぞいてみようみんなの協議体～親園地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

ゆかい パワフル 絆のちかその



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■ みんなの気づきを共有しよう

協議体を年6回開催し、委員の気づきや気になることを全体で共有し、「若い人が集まる機会をつくろう」など具体的な取り組みにつなげています。

#### ■ ボランティアを増やそう

まごころのこもったお弁当をこの先もずっと届けられるよう、ふれあい食事サービスの調理ボランティアを増やしています。

#### ■ 地区内の横の連携を強くしよう

地区内の地域活動を行う団体や機関が連携し、行事について工夫しています。令和6年度は地区文化祭と北区マルシェを合同で開催し、若い人の参加でさらに盛り上がりを見せました。



### ささえ愛の取組み



#### 助け合いの救急法

親園地区では、ご近所のつながりを活かして、万が一のとき自分にも役立つ救急法を学びました。思いやり隊は、地域の安全・安心のために地域が一丸となって進めいく気運が上がっています。

#### 若い力を地域に ✨

同じ地区内に住んでいても交流することの少ない若い世代の人に地域に関心をもってもらおうと、地区文化祭の機会に中学生のボランティアの参加も含めて交流し、地域の輪を広めています。



#### プチっとお出かけ交流

思いやり隊では、地域の高齢者の交流と外出する機会としてプチっとお出かけ交流事業を行っています。今回は宇都宮ライトレールの乗車に出かけました。久しぶりに顔を合わせた仲間にも声をかけながら、楽しいひとときを過ごしました。



### デマンド交通を活かして～交通弱者にならないために～

#### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

##### ・協議体から、「デマンド交通を知ろう！」の意見

- ・令和元年度に小地域福祉活動計画を策定し、活動しようと盛り上がってきたところで、コロナがあり協議体が開催できませんでした。
- ・令和3年度から地区社協役員会の後に、「ささえあい会議」として、委員の気づきや地域内の気になることを全体で共有し、話し合っています。
- ・民生委員さんが地区内で走っているデマンド交通の説明を聞き、試乗したことが協議体内で話題となりました。

#### ○活動内容

- ・思いやり隊の会議でデマンド交通についてみんなで勉強して思いやり隊主催で「デマンド交通試乗会」を開催しました。
- ・デマンド交通を利用し、トコトコ大田原へ買い物に出かけました。
- ・高齢者で免許返納で移動手段のない人に民生委員等が呼びかけ、デマンド利用につなげていくよう進めています。ほほえみセンターでの説明会を開催し、全員が登録しデマンドで通う人も出てきました。



#### ○活動の感想

##### (1) 成果

##### 参加者の声

- ・バイクに乗れなくなったが、毎月安心してほほえみセンターに通うことができます。
- ・人をお願いするより気が楽になりました。

##### (2) 苦労したこと

- ・デマンド交通が必要な人に知られておらず、登録が難しそうという先入観があるという意見があります。

##### (3) 今後の取組

- ・民生委員などから運転免許を返納する人の情報をもらい、支援します。
- ・高齢などにより、移動が困難になっても豊かな生活が出来るよう、関係者が共通認識のもと進めます。



#### ○こんなところがいいね👍

- ・試乗会の実施など“まずはやってみる”ことで事が前に進みデマンド交通の利用者も増えた。
- ・デマンドの試乗会を行った。それにより「ほほえみセンター」へ自分で行く事ができるようになった。
- ・運転免許返納者への支援として良い。
- ・高齢者の豊かなくらしのための情報収集や呼びかけを積極的に行っている。



# のぞいてみよう みんなの協議体～野崎地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

のびのび ざわざわ きずな和く輪く

### 💡 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■ 防災意識を高めよう

災害時にも助け合えるよう、防災意識を高める機会として、野崎地区のお祭りや文化祭等で、災害クイズや100円で購入できる防災グッズの紹介を行い、防災について身近に考える機会を進めています。

#### ■ 近所のつながりを強めよう

ひと声かけるきっかけを作るため、回覧板に小中学生のイラストや地域の方のちぎり絵などの作品を掲載した「ひと声・声かけ運動」を展開しています。

#### ■ 野崎の良さを発信しよう

地域行事・見守り・居場所などのPRのため、「野崎写真自慢コンテスト」を開催しています。PRだけでなく、地域の良さに気づくきっかけにもなっています。

### 💡 ささえ愛の取組み



#### 居場所活動

各自治会ごとに様々な居場所があります。季節に合わせた行事やお巡りさんや地域包括支援センターによる講話など、工夫しながら行うことで、お互いの安否確認や情報交換の機会になっています。

#### 防災クイズ

野崎さくら祭りで防災クイズ（ピクトグラム）を実施しました。「見たことはあるけど、どんな意味だっけ？」など、防災について考えるきっかけになりました。子どもから大人まで参加してくれました。



#### 野崎写真自慢コンテスト

応募があった写真について審査をしている所です。野崎の伝統行事や美しい景色など、写真をとおして「野崎の良さ」を発信しています。



## 世代間交流～ひょうたんクラブ～



### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

#### ざわざわ (活性化)

- ・グループのテーマの一つ→「ざわざわ…にぎやかな野崎を作る」
- ・何かを利用して、地区内の子どもからお年寄りまで交流できる場づくりを進めることになりました。
- ・いろいろなアイデアが出たが、グループメンバーが「ひょうたんランプ作り」を提案し、採用されました。
- ・試行錯誤の末、令和5年10月に「**野崎ひょうたんクラブ**」が発足しました。

### ○活動内容

- ・ひょうたんの栽培
- ・ひょうたん作品作りの企画、広報
- ・子供育成会や老人クラブ、ほほえみセンターでの **絵付け体験**
- ・野崎幼稚園や薄葉小学校へのひょうたん提供
- ・野崎文化祭での展示

#### 【ひょうたんクラブ定例会】

毎月第3火曜日に定例会を開催し、ひょうたん作品の製作や会の活動計画、情報交換を実施中！



### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・ひょうたんクラブが発足し、仲間が増えました。
- ・ひょうたん作品づくりをとおして、世代間交流が活発になってきました。

#### (2) 苦労したこと

- ・最初は一部の方に依存していたが、ひょうたんクラブが発足して、みんなで栽培から製作までできるようになりました。
- ・細かい技術が確立されていないので、試行錯誤を続けています。

#### (3) 今後の取組

- ・もっと「**ひょうたん**」をとおして、野崎を活性化させたい！



### ○こんなところがいいね 🍌

- ・若い世代、次の世代を担う子どもたちを含めた取り組みがおもしろい！
- ・ひょうたんの栽培から加工まで素晴らしい！笑顔でのびのび、ざわざわと様子がうかがえます。
- ・販売まで行い、活動資金をつくっていることが素晴らしい。
- ・ひょうたんを基として人・地域がつながる取組みになっている。
- ・ひょうたんをとおして、世代間交流ができていていいね！



# のぞいてみよう みんなの協議体～佐久山地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～ 笑顔咲く佐久山

### 💡 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■ 佐久山地区の福祉活動計画

令和元年から実施していた「第1次小地域福祉活動計画」が令和6年度までとなり、次年度から取り組む新しい計画について話し合いを行いました。

#### ■ “笑顔咲く佐久山”をつくる三つの柱

「人づくり」「居場所づくり」「情報が伝わる地域づくり」を目指し、話し合いを行い、それぞれを達成するための目標と計画を作りました。

#### ■ “つながり”をつくろう

心配ごとの相談をはじめ、気軽に集まれる居場所を開設しました。これからの佐久山地区を作っていく世代との交流、つながりづくりも行います。

### 💡 ささえ愛の取組み



#### 居場所活動

どこでもみんなで集まるところに旗を立てて「いこいの広場」を開催中です。

ご近所同士が気軽に集まることができ、参加者の方も元気な顔を見れて安心できると言っていました。

#### ふくし祭り

実行委員会で企画し、佐久山地区が一体となり、ふくし祭りを開催しました。

笑いヨガや世代間で楽しめるゲーム、かき氷やフランクフルト、鮎の販売もありました。

様々な団体が協力し、楽しい催しで、地域の絆が深まりました。



#### 買い物ツアー

民生委員さん、地域包括支援センター職員さんのお手伝いのもと、参加者の方は楽しく買い物ができたようです。

カートを使い店内を元気に歩いている姿が見えました。





## 笑顔咲く佐久山 ～外出支援事業～

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

地区外出支援事業は、生活支援体制整備事業の一環として平成31年4月に発足しました。発足の趣旨は、高齢化率の高い佐久山地区の課題の一つである外出に困っている高齢者等に対し、病院への通院、買い物、地域の行事への参加等、出かけるために必要な交通手段を確保し、高齢者等の暮らしと活躍を応援することを目的として事業を立ち上げました。

### ○活動内容

#### ◆福祉ドライバー（ボランティア人材）の確保

##### ①仕掛けの一つとして、『男メシ料理教室』の開講

⇒60歳以上の男性に声掛けして15名の料理に関心をもたれた方が参加（年3回）

⇒次のステップとして、「飲み会でもしませんか」と声かけし、飲みニケーションを開催

##### ②他地域での福祉活動の視察研修を勧誘

⇒佐久山地区での会議、行事、イベントの開催時に声掛けをして、福祉に関心をもってもらうことと、研修後の飲みニケーションを企画

#### ◆チラシによるPR活動

- ・大田原市の広報配布に合わせ、さくやま福祉だよりを各自治会へ回覧
- ・ふれあい型食事サービスの個別訪問時に配布
- ・民生委員さんの協力を得て口コミ活動

#### ◆活動資金の確保活動

- ・基本は、地区の区長会や社会福祉協議会及びほほえみセンターから援助をいただき運営
- ・その他の活動として、自主財源の確保
- ⇒地区文化祭でのカレー販売（料理の得意な方に声かけを行い、協力を得ている）



### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・地域とのきずなが深まり、孤立防止につながる（見守り事業の一助）
- ・高齢者の社会参加、介護予防

#### (2) 苦勞したこと

- ・事故した時の保険→タクシー会社と同じ保険に加入し安心してもらった
- ・無償で外出支援を行う上での手続き

#### (3) 今後の取組

- ・担い手の確保と育成

### ○こんなところがいいね 🍌

- ・ドライバーの確保のために直接「ドライバーやらない？」と声を掛けるのではなく、料理教室を開催して、それから少しずつ関係を作るところ。
- ・担い手確保のために丁寧な土台づくり、種まきから仕掛けまでお見事です。男メシ料理教室いいね！
- ・人づくり、研修、保険、車、費用など1つ1つしっかりとクリアできているところがお手本だと思った。
- ・地域で外出支援ができることは素晴らしいと思う。



# のぞいてみよう みんなの協議体～湯津上地区のささえ愛～ ～目指す地域像～ LOVE ゆづかみ



## 協議体でどんな話し合いをしているの？

### ■ 5年後の地域の活動どうする？

令和6年度に、第2次小地域福祉活動計画の策定作業を行い、みんなで湯津上の現状と課題を整理しながら、熱い想いが語られました。

### ■ 気軽に集まれるといいよね！

地域にある公民館や集会所、学童保育館などの施設を活用し、みんなが気軽に集まれる居場所ができないかとアイデアを出し合っています。

### ■ 地域活動の動きを共有できるようにしよう

令和6年度から地区社協、見守り隊、協議体の組織が一体化され、それぞれの活動の情報を共有しています。



## ささえ愛の取組み



### 地域がつながる伝統行事

世代間交流事業として、児童が参加して豊年棒づくりや大捻縄（だいもじ）引き、稲刈り、芋掘りなど地域の自然や伝統行事をとおして、地域のつながりと地域を愛する人を育てる活動につながっています。

### 居場所づくりの活動

湯津上では、茶話会やふれあいお楽しみ会、言ノ葉喫茶などの、交流活動を実施しています。  
児童クラブ（学童保育館）で、「岩船台カフェ」が令和7年4月から始まります。



### 地域づくりを広める

湯津上地区社協では、広報紙「ゆうあい」を毎年発行し、地域の活動が見えるようにしています。地域の動きを知ってもらい、活動の参加につながることをねらいとしています。





### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

かつてあった育成会の行事や地区の運動会などがなくなり、地域のつながりの希薄化が問題となり、次代につないでいく「**湯津上地区ならではの人と人のつながりを大事にしていこう**」と、協議体で課題が出されました。地域の伝統行事(豊年棒)をとおして、世代を超えた思いやりを育てるふれあい事業として、湯津上小学校の協力のもと、地域の方々と共に、児童と父兄が縄をよじり、豊年棒づくりを行っています。

### ○活動内容

地域の高齢者から子どもたちに継承していくために、中秋の名月の日に合わせて、地区社協が中心になり『豊年棒づくり』をしながら、参加者が協力して、稲藁をよじて「豊年棒」(「ほうねんぼう」、「ほうじぼ」ともいう。)を作ります。

児童は、出来上がった豊年棒で地面を叩き、豊年棒の歌を歌って、秋の実りに感謝し、翌年の豊作を祈りながら地域の家を訪問し、**世代間の交流と伝統を引き継ぐ活動**を行っています。



### ○活動の感想

- ・ 児童が大人になったときに、湯津上地区に誇りを持ち、地域を愛する人になってほしい。
- ・ できれば地元に戻ってきてほしい。
- ・ 伝統活動だけでなく、地域みんなが楽しく参加できる機会を、地区内の横のつながりを活かして湯津上を盛り上げていきたい。



### ○こんなところがいいね👍

- ・ 高齢化が進む中、小学校との連携はとても大切で、いろいろなイベントを共同できている点が「いいね！」
- ・ 地域の宝がある強み(次世代につないで行く行事)
- ・ 子どもたちに生きるということを、稲栽培(田植え、稲刈り)サツマイモ掘りをとおして教えているのが非常に良かった。
- ・ 技術を教えながらの人づくりがいいね！



# のぞいてみよう みんなの協議体～黒羽地区のささえ愛～

～目指す地域像～

## ロマン香る 黒羽



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■防災意識を高めよう

災害時にも助け合えるよう、防災意識を高める機会として防災研修を実施しています。身近にある危険個所や見守り利用者宅をマークしながら隣近所の安否確認等の方法について情報共有しています。

#### ■つながりを強めよう

様々な問題で外出の機会が少なくなりがちですが、ご近所とのつながりを強められるよう茶話会等を開催しています。皆さん、定期的に会えることを楽しみにしています。

#### ■地域の子どもたちと交流しよう

地域の小学生と世代間交流を図っています。地域のお祭りや行事を通しての交流もありますが、年賀状やお弁当の上紙に絵やメッセージを書いてもらい、子どもたちの優しさを届けています。



### ささえ愛の取組み



#### 地域の防災

各自治会ごとにマップを使って見守り利用者や支援の必要な方を確認し、また、危険個所の記入や避難経路等について話し合いをすることで、万が一に備えた防災意識の向上を図っています。

#### 茶話会

ほほえみセンターと一緒に茶話会を開催しています。輪投げ等のゲームを楽しみながら、ゲームの合間にはおしゃべりで盛り上がり、仲間づくり・居場所づくりにつながっています。



#### 世代間交流

黒羽小学校の子どもたちから地域の見守り利用者へ心温まる年賀状が届けられ、世代間交流(あったか年賀状)を図っています。毎年届く年賀状を皆さんは楽しみにしています。

## 防災の取り組み

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

令和4年度に小地域福祉活動計画の推進状況を確認するアンケートを実施したところ、安心安全なくらしができる組織・地域づくりのために「地区見守り隊と地区防災組織を活用してはどうか」という意見がでました。

アンケート結果を受けて、協議体で話し合い「防災意識を高めるための研修会をやってみよう」ということになりました。

### ○活動内容

#### ～1つの自治会の取り組みから黒羽地区全体の取り組みへ～

令和5年度に市防災訓練のモデル地区だった矢倉地区において、見守り利用者の声かけや避難誘導、炊き出しや防災倉庫の点検を行い、災害時の自治会活動を実践しました。

さらに9月には地区社協・協議体・見守り隊合同研修として防災講座を開催しました。矢倉自治会の取り組みを市危機管理課から紹介してもらい、地区ごとのハザードマップを見ながら危険個所の確認や防災倉庫等について話し合いを行いました。



### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・ 矢倉地区の実践は良かった。みんなの安心と自信につながった。
- ・ 防災講座の地区ごとの話し合いは、地震や大雨の時を思い出し、危険個所や避難所の確認ができた。

#### (2) 苦勞したこと

- ・ 市危機管理課の協力をいただく際、地域の声や思い、進め方のすり合わせをした。

#### (3) 今後の取組

- ・ 令和6年度も防災講座を開催し、住宅地図を使った見守り利用者の把握や避難誘導等、地区ごとに考える話し合いをしたいと考えています。



### ○こんなところがいいね👍

- ・ 自治会の防災の取り組みを地区全体に広げようとしているところが良い。
- ・ 見守り隊・地区社協・協議体と連携で防災講座を継続しているところがすばらしい。
- ・ マップを使った危険個所等の話し合いは、自分の地区でも取り入れたい。
- ・ 防災講座の後の話し合いで様々なことが確認され、継続して取り組もうとしているところが良い。



# のぞいてみよう みんなの協議体～川西地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

おたがいさまで ささえ愛ながら 生きていく川西地区



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■防災意識を高めつながりを強めよう

災害も多くなってきたおり、防災訓練を通して近所同士の声かけや助け合い、世代間のつながりや交流となるように実施しています。

#### ■地域のささえ愛を強めよう

みんなが気軽に集える場(カフェ)が多くあり、ご近所・地域の方とのつながりを大切にしています。このような居場所を通して、つながりの輪やささえ愛が広がっています。

#### ■伝統文化を継承しよう

夏祭りやお祭りを通じた世代間交流にも力を入れています。コロナ等で中止になってしまっていた行事も再開・復活しながら、若い世代へ継承しています。



### ささえ愛の取組み

#### 防災訓練

防災訓練を実施し住民の防災への意識を高めています。また、防災訓練を通して、住民同士のつながりの輪が広がり地域の担い手育成にもつながっています。



#### 居場所活動

川西地区では各自治会ごとに様々な居場所(カフェ)があります。お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだり、お巡りさんの講話などもあります。居場所をとおしてお互いの安否確認や情報交換の機会になっています。



#### 玉藻稻荷神社祭り

「九尾の狐」の伝説で有名な玉藻稻荷神社で、子どもたちに由来や伝統を継承することとお祭りをとおした担い手育成を目的に「玉藻稻荷神社祭り」を50年ぶりに復活させました。



## 担い手育成～青年団カフェ～

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

川西地区では地域の課題として「担い手の育成」があがっています。少子高齢化や進学とともに地元を離れてしまう人も多く、地元に残らず地域の担い手が少ない状況です。

そこで、現在50歳～70歳代の元青年団の方に、川西地区青年団で活動されていた当時の様子や地域への想いを教えてもらい、これからの地域づくりや仲間づくり、担い手育成のヒントやつながりづくりのきっかけに開催することにしました。

### ○活動内容

- ・令和5年12月に第1回目を開催。「昔を語ろう！川西地区青年団」をテーマに元青年団や地域の方が集まり青年団時代の話や活動についておしゃべりをしながら交流を図りました。
- ・令和6年度からは「**青年団カフェ**」として開催。青年団を知らない世代の参加もあり、地域のために何かしてみようということで、自治会を超えた交流やつながりづくりをしています。



### ○活動の感想

#### (1) 成果

- ・担い手育成ももちろんだが、若者が少ないので自分達も昔を思い出して地域のためにできることをやったり、これを機に昔のような強いつながりをもった地域を作りたいという気持ちが感じられました。

#### (2) 苦勞したこと

- ・つながりの強い元青年団の口コミで広めたこと。
- ・お便りで地域へお知らせしたこと。

#### (3) 今後の取組

- ・青年団カフェを継続していきながら、若い世代や未来のリーダーを巻き込み、地域づくり、育成につなげていきます。



### ○こんなところがいいね👍

- ・「青年団カフェ」のネーミングが良い。
- ・「地域のために何かをする」動機がすばらしい。
- ・集まるきっかけとして、青年団を活用し、カフェとして意見交換ができる場があることがすばらしい。
- ・幅広い年齢層が集まって、これからの地域づくりや仲間づくり、担い手育成することはイイですね。
- ・地元でずっと暮らしている人たちの地元愛が感じられて、団結力が感じられて、いいね！！



# のぞいてみよう みんなの協議体～両郷地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

やさしさ いっぱい やすらぎの両郷



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■協議体ってなんだろう？

新メンバーでの協議体会議をスタートし、協議体について知るために県アドバイザーを講師に招き、研修会を実施しました。この研修でみんなが描いた両郷地区の未来予想図は「子どもたちから大人まで交流できる地域」でした。その後はPTA関係者等、若い世代に声をかけ、地域の交流について話し合いを進めています。

#### ■子どもから大人まで楽しめる交流をしよう

地域の70代80代の方が子どもたちに農民太鼓を教えていたり、子どもたちが那須与一の劇を練習して学校で発表会をしています。地域の方が発表を見に行けるように学校に働きかけると、児童が手書きで描いてくれた招待状が回覧でまわり、交流が復活しました。

#### ■近所のつながりを強めよう

地域の消防団と子ども育成会を巻き込み、自分たちの地域を歩き、防災訓練や炊き出しの訓練、そしてご近所とのつながりを実感できるように、地域愛を育む企画をしています。



### ささえ愛の取組み



#### 居場所「郷郷カフェ」

毎月第2火曜日午後1時30分～3時30分  
両郷地区コミュニティセンター内の両郷地区社協事務所で郷郷カフェを開いています。出入り自由で、おしゃべりや体操等、ゆったり過ごせる場所をみんなで作っています。

#### デマンド体験お楽しみツアー

11月に3日間に分けて、デマンド交通を利用したお楽しみツアーを実施しました。地域の協力で28名が参加し、デマンド交通を体験しながら、雲巖寺での紅葉散策や秀の家で食事や買物とおした交流を楽しみました。



#### 小さな居場所の発見

グラウンドゴルフや長屋門での手芸、ご近所のお茶のみ、老人会の活動等、小さな居場所で生き生きと活動している地域の皆さんを発見し、見守り隊だよりでお知らせしています。



## 両郷地区デマンド交通体験買い物ツアー

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

令和4年協議体の意見

- ・居場所やほほえみセンターに参加したくても移動手段がなく、来られない人がいる。移動手段が課題だよね。
  - ・デマンドバスで居場所に来ている人もいるよね。
  - ・両郷にはお店がない。買物は自分で見て買いたいよね。これから増えていく高齢者の運転免許の返納をどうしたらいいんだろう？
- 「**デマンド交通の使い方をみんなで体験し、誰かと一緒に買物を楽しむ買物ツアーをやってみよう!**」

### ○活動内容

「**デマンド交通体験買い物ツアー**」～実施主体は見守り隊～

- ①見守り隊長会議で、デマンド交通を体験しながら道の駅与一の郷へ買物に行く計画を提案
- ②民生委員さん、見守り隊長さん、副隊長さんから高齢者へ声かけ
- ③参加者23名を地区ごとに4日間に分けて実施
- ④市生活環境課へ申込み、自宅近くに乗降所設置
- ⑤参加者や協力者から意見を聴き、協議体で振り返り



### ○活動の感想

#### (1)成果

- ・みんなで一緒に話したり買物したり食事したり、楽しい時間を過ごすことができました。久しぶりの外出、久しぶりの再会と会食で元気が出ました。
- ・見守り隊や関係機関等多くの方の協力で実現でき、デマンド登録の手続きや利用のしかたについて広めることができました。



#### (2)苦勞したこと

- ・高齢者への声かけは電話での連絡がとれず、何度も足を運んで時間がかかりました。また、高齢者同士の好き・嫌いもあり、声かけの難しさがありました。

#### (3)今後の取組

- ・もっと気軽に参加してもらうために、お楽しみ要素(観光や食事)を入れて周知の仕方を工夫して広めたいです。また、1人でもデマンドを利用できるように継続して実施していきたいです。

### ○こんなところがいいね👍

- ・公共交通を利用した買物を地域主催で企画した組織力がすごい。
- ・自治会長や民生委員さん、サポーターさんの呼びかけ応援が素晴らしい。
- ・お店がなく買物できないという状況をデマンドを利用して買物ができるに変えたことがすごい。
- ・乗り慣れていないデマンド交通の利用を初体験して慣れる心を促進したことが良い。
- ・居場所の参加者から協議体委員が声を拾い、交流したところがすごい。



# のぞいてみよう みんなの協議体～須賀川地区のささえ愛～

## ～目指す地域像～

声をかけあい みんなで協力し 安心して生活できる須賀川にしよう



### 協議体でどんな話し合いをしているの？

#### ■高齢者の移動と買物について考えよう

高齢者の移動手段の確保が課題となり、デマンド交通を利用した買物ツアーを実施してきました。デマンド交通利用も進みましたが、須賀川地区ではご近所で助け合って買い物をしていたり、家族がまとめて買物をしている実態があります。お店が1軒しかないため、衣料品を自分の目で見て買えるよう、交流を目的としたバスでの交流ツアーについて話し合ってきました。

#### ■非常時の対応について考えよう

大雨による高齢者等避難指示が出た経過もあり、非常時の場合の情報収集の仕方や自分や見守り利用者への危険箇所の把握、避難所の確認等を行いながら、非常時でも声をかけあえる体制を目指しています。



### ささえ愛の取組み



#### しまさぼを利用した買物ツアー

しまむらの開店前1時間にお店が開放され、ゆっくりと買物ができるサービス「しまさぼ」を利用して買い物ツアーを企画しました。久しぶりにみんなとの外出・交流の機会につながりました。

#### 防災講座と話し合い

見守り隊と協議体の合同企画による防災講座を実施しました。市危機管理課のお話と合わせて、ハザードマップを見ながら見守り利用者の危険箇所や特に気がかりな方の支援について話し合い、非常時に備えています。



#### 須賀川地区交流拠点

毎月第2・第4火曜日に須賀川地区公民館を拠点に、交流拠点を開設しています。第2層SCが皆さんの集まりや農作業の休憩中にお声をかけて、地域のお話を聞かせてもらっています。



## 須賀川地区デマンド交通体験買い物ツアー

### ○きっかけ(地域の声、課題→活動のねらい)

#### 令和4年度協議体

- ・ 買い物や病院受診時の交通手段の課題があがりました。また、免許返納を検討していても、返納後の移動手段の問題で返納を躊躇している方がいます。今後も地区の課題となっていく為、解決に向けて話し合いをおこないました。
- デマンド交通の話題となり、利用者も少なく利用の方法が分からない方も多くいたので「**デマンド交通体験を実施してみてもどうか**」と話題になりました。

### ○活動内容

- ・ 須賀川地区見守り隊長会議において、市担当課よりデマンド交通利用について説明をいただき、デマンド体験を実施することになりました。
- ・ 高齢者で移動手段のない人や見守り対象者へ、民生委員が中心となり呼びかけ、デマンド交通体験買い物ツアーの参加者を募りました。これをきっかけにデマンド利用につなげていくよう進めています。
- ・ 利用方法や乗降場所の登録など支援をおこなっています。



### ○活動の感想

#### (1) 成果

##### 参加者の声

- ・ デマンド交通は初めてだったけど、便利だった。また、利用してみたいと思う。近所の人と食事やおしゃべりも出来てよかった。

##### 民生委員の声

- ・ 日常生活でデマンド交通を利用するきっかけになったと思う。

#### (2) 苦労したこと

- ・ 初めて利用される方の乗降所の設置申請に気を使いました。

#### (3) 今後の取組

- ・ 引き続き、デマンド利用の促進を図っていきながら買い物支援や交流を図れる活動を行っていきたいです。



### ○こんなところがいいね 🍌

- ・ デマンドを広めていくための楽しみを折り込んだ買物ツアーの企画がとても良い。
- ・ 支援する立場の方々も楽しんでやっているところが良い。
- ・ 免許返納を躊躇している人は市全体にもいるし、日本中の課題だと思う。バス移動中がコミュニケーションの場でもあって相乗効果が生まれているところが良い。



## ＼大田原市社会福祉協議会は／

みんなの**心**だんの**く**らしの**し**あわせを応援しています！

一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域づくりを目指して取り組んでいます！

### ■ 本 所

大田原市本町1-3-1 市役所A別館1階

電話：23-1130 FAX：23-1138

### ■ 湯津上支所

大田原市佐良土多目的交流センター内

電話：98-3715 FAX：98-8011

### ■ 黒羽支所

大田原市黒羽田町848

電話：54-1849 FAX：54-2745

ともに生きる豊かな地域社会の実現を目指す  
～「人の力」「地域の力」「つながりの力」を活かす社協～  
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会



市社協HP



市社協公式X

市社協のことも  
のぞいてみよう！



「12地区をのぞいてみよう」冊子  
発行年月：令和7年3月  
発行：大田原市社会福祉協議会